

オリジナルのプラネタリウム番組「宇宙クルーズ 2026」、 第 2 弾は地球から最も遠い人工物・探査機ボイジャーを追う！

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：高柳雄一）では 12 月 27 日（日）まで、全編生解説プラネタリウム「宇宙クルーズ 2026〈追跡!ボイジャー 1 号〉」を投影します。

本番組はこの夏好評を博した「宇宙クルーズ 2026〈出航!天の川航路〉」に続くシリーズ第 2 弾で、天の川を巡る旅を終えた宇宙船は、今度は地球から最も遠く離れた人工物「ボイジャー 1 号」を追跡します。

2026 年 11 月、ボイジャー 1 号は地球から 1 光日を超える距離へ到達します。本番組では打ち上げからおよそ 50 年にわたる探査の軌跡と、その長期運用を支える技術に迫ります。

打ち上げから約 50 年 いまも続く壮大な旅

1977 年に打ち上げられたボイジャー 1 号は、木星や土星の観測を行った後、太陽系を離れ、現在も地球との通信を続けています。地球から最も遠く離れた人工物として、人類の探査史を切り開いてきました。本番組では、プラネタリウムドームいっぱいに広がる宇宙空間を舞台に、ボイジャー 1 号の軌跡をたどります。

なぜ 50 年近くも動き続けるのか

ボイジャー 1 号の魅力は、その距離だけではありません。

番組では、探査機を長期間稼働させるための工夫にも注目します。原子力電池や巨大なアンテナ、人類から宇宙へのメッセージを収録した「ゴールデンレコード」など、探査機を構成するさまざまな技術や仕組みについても紹介します。

プラネタリウム新番組 概要

【名 称】全編生解説プラネタリウム「宇宙クルーズ 2026〈追跡!ボイジャー 1 号〉」

【日 時】2026 年 9 月 29 日（火）～ 12 月 27 日（日）（投影時間：約 45 分間）

※休館日・ご利用日の投影時間は当館ホームページでご確認ください

【会 場】多摩六都科学館 プラネタリウムドーム（サイエンスエッグ）

【料 金】観覧付き入館券 大人 1,040 円、小人（4 歳～高校生）420 円

【定 員】220 人

【観覧券】販売方法は当館ホームページでご確認ください

番組制作担当者より

「この番組では、デジタルプラネタリウムの機能を使って打ち上げから 49 年にわたるボイジャー 1 号の旅路を再現します。木星・土星のフライバイや遠ざかってゆく太陽系など、ボイジャー 1 号が見てきた景色を追体験するとともに、みなさん自身の人生の旅路も思い返しながらかお楽しみいただけたらと思います。あなたの思い出のあの日や生まれた日、ボイジャー 1 号はどこで・何をしていたでしょうか。

この秋、多摩六都科学館では展示・大型映像・生解説プラネタリウムで探査機ボイジャーの魅力をつぶりとお伝えします。ぜひとも 3 つの体験をコンプリートしていただき、今は遠くにいるボイジャー号を身近に感じながら「学びの秋」をお過ごしください。」



▲新番組メインイメージ



▲エントランスから見た探査機 ボイジャー



▲大型映像「VOYAGER / ボイジャー 終わりなき旅」番組の詳細はこちら（別途、観覧料が必要）



多摩六都科学館 WEB

お問い合わせ先

多摩六都科学館 広報担当（蓮田）まで

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64

TEL 042-469-6100（代表）042-469-6984（広報担当直通）

Mail info2@tamarokuto.or.jp